

特殊詐欺発生状況

令和6年5月の状況

5月中	件数	金額	1~5月	件数	金額
R6年	13	約1,910万円	R6年	67	約1億4,440万円
R5年	17	約5,370万円	R5年	69	約1億7,600万円
増減	-4	約-3,460万円	増減	-2	約-3,160万円

5月中の主な手口

警察官を名乗るオレオレ詐欺を認知!

5月は、警察官を名乗る者からの電話で「事件であなたを捜査しています。」などと言われ、LINEで逮捕状の画像を見せられるなどして金銭を要求されるオレオレ詐欺を認知しました。

オレオレ詐欺の手口一例

携帯電話に警察官を名乗る者から電話があり、突然、「事件であなたを捜査しています。出頭して下さい。」などと言われる。

すぐに出頭ができないことを伝えると「電話で聴取が可能です。」「LINEを登録して下さい。」と言われ、LINE IDを教えられ、警察官を名乗る者とLINEで交信が可能となる。

LINEのビデオ通話がかかってくると、警察官の制服を来た犯人が映っており、警察手帳を見せられる。

続けて、「主犯格の犯人を捕まえたところ、あなた名義のキャッシュカードを持っていた。」「あなたの口座にお金が振り込まれ、あなたがお金を受け取ったことになっている。」「あなたに逮捕状が出ている。」などと言われ、LINEで逮捕状の画像を送られる。

続けて、「あなたの口座にあるお金が犯罪に使われてはいけなくて調査します。」「調査終了後にお金を返還するので、一旦、警察の口座にお金を振り込んで下さい。」などと言われて金銭を要求され、指定された口座に金銭を振り込まされる。

被害

本事例の制服や警察手帳、逮捕状は全て偽物です。

警察が携帯電話に電話を掛けてLINE IDを交換したり、LINEのビデオ通話を使って事情聴取を行うことはありません。また、逮捕状を撮影したり、その画像をSNSで送信することはありません。

トピックス

特殊詐欺被害の未然防止

5月中、中国銀行大元支店では、来店客がATMコーナーにおいて「市役所から医療費の振り込みがあるとされた。」などと話したことから、対応した職員が詐欺と見抜き、市役所に事実確認するとともに警察へ通報するなどして還付金詐欺被害を未然に防止しました。

また、セブンイレブン岡山曾根店、ローソン高梁駅前店、ファミリーマート琴浦西店等では、電子マネーカードを購入しようとした来店客に店員が購入理由を聞いて詐欺と見抜き、警察に通報するなどして架空料金請求詐欺被害を未然に防止しました。

このほかにも、金融機関やコンビニエンスストアなどで合計26件の特殊詐欺被害を未然に防止することができました。

ココに「技あり」!

中国銀行大元支店の方は、市役所に事実確認をするなど徹底した対応をさせていただいており、水際対策の好事例です。

また、各コンビニエンスストアでは、各店舗責任者が電子マネーカード購入者に購入理由を確認する指導ができているからこそ、架空料金請求詐欺被害を未然に防止することができたもので、いずれも水際対策の好事例です。